

# きずな(絆) No.15 発行:全日本民医連 震災対策本部

《HP新着情報》 ○関連情報・重要なお知らせ～全日本民医連HPに随時掲載、更新中  
★会長訴え(動画)・・・「震災から2週間」藤末衛会長の訴え(3/26～)  
★★ナターシャ・グジーさんの“ビデオ・レター”(3/26～)、歌声DVDも届けます

## 地域で事業所でさらに広げよう、支援の輪と連帯

### ■「休んでほしい」支援隊で当直勤務を：横福協(神奈川)

支援隊第3陣が3/26夜帰任。連日診療、避難所訪問に奮闘し現地のみなさんに休んでもらおうと、支援医師のみで当直にも入りました。以下は、みどり野診療所職員の避難所訪問レポートです。

「医師、薬剤師、看護師ら11名で多賀城小学校へ。避難されている方は約200名、ガス・電気は復旧しましたが水は4月から。日中は家の片付けをする方が多く、避難所には子ども、高齢者が残っている感じでした。気軽に話しかけるような雰囲気ではなく黙々と掃除をしていたら、高齢者から明るくあいさつされ、逆に元気をいただきました。下痢・嘔吐が流行っています。トイレに行った靴で通路を歩くすぐ横で寝ている、車イスも通る、手が洗えないなど状態で、トイレ掃除と避難所の除菌する班に分かれ行動しました。ノロウィルスを防ぐために、同行の医師がトイレはスリッパに履き替えるよう指示しました。トイレ用車椅子の準備を要請しましたがかなわず、薬品を使いトイレの大掃除を行いました」



(東日本大震災対策ニュース3/28No25 横浜勤労者福祉協会)

### ■ 足元の避難所で：かすかべ診療所(埼玉)

かすかべ診療所は、避難受け入れ施設がすぐ近くです。職員が訪問し市職員らしき方に様子をうかがうと「22名が避難、食事・物は足りている。市の保健師も来ている」とのこと。ある民間介護施設には、18名の高齢者と2名の介護職員と一緒に避難。そのまま入所者と施設に泊まり込んでいるようです。社協のボランティアに登録したり、親戚10名を自宅で受け入れられている組合員さんもいます。行政の避難所以外でも、困っているひとがいらないか情報を集めたいと思います。

(「東日本大震災対策本部ニュース」医療生協さいたま・埼玉民医連3/24 No15)

### ■ “皆さんがいるからがんばれる”といわれて・・・東信医療生協(長野)

3/17-21まで泉病院に看護師支援に入りました。19日にやっとお母さんの安否確認ができた職員もおり胸の痛い思いでした。泉病院関口対策本部長は、「民医連のみなさんの支援がある組織で本当によかった、皆さんがいるから私たちががんばります」と1週間ぶりに自宅に帰るとおっしゃっていました。東信医療生協にも物資・募金がいっぱい集まっています。できること、がんばっていきます。

(「東日本大震災 支援ニュース3/24No11 長野民医連」)

＜おしらせ＞\*\*\*\*\*

- 「**ガイアの夜明け**」3/29(火)22:00～テレビ東京「**震災支援19日間の総力戦**」取材：埼玉協同病院など
- 支援ニュースや新聞掲載記事など、[info@min-iren.gr.jp](mailto:info@min-iren.gr.jp)(全日本民医連代表アドレス)に、集中してください。
- 全日本民医連HPで**関連情報・動画を掲載**。活用し職場での意思統一、学習会を積極的に開催しよう。

\*\*\*\*\*